

歌壇

大下一真選

特選

丁寧に裏漉し手伝う孫の居て我家の金団受け継がれゆく

千駄木 上杉 紀世子

晴ればれと朝陽に向きて深呼吸今日九十二歳わが誕生日

千駄木 石井 禮子

疎開地に急死の父は阿武隈の川を見おろす土に眠れり

水道 高木 マリ

入選

近く住み何時でも会えると思いに妹先立つ悔やむも遅し

西片 松林 利枝

路の筋取る指先のおぼつかないつか八十路を越えし憂いよ

千石 小出 風沙子

さざ波の揺らめく底をスーイスイ人魚になりし夢に目覚める

水道 菅井 茂子

古木生い茂りし家は年を経て今日はあつさりと更地になりぬ

向丘 高野 伸子

乗り降りも外の景色も無縁らし車内の人の皆スマホ見る

小石川 荻原 和夫

待ちかねてママと呼びかけ足踏みの園児に迎への母ら足早

千石 菊地 正矩

制服の女学生の列並びゆく若葉清けき通学の道

大塚 加藤 喜雄

俳壇

松澤 雅世 選

特選

地球儀のうすら埃や五月闇

向丘 片岡 マサ

蚊柱に睡魔のありて昼の月

向丘 丸岡 正児

雛の間の闇やはらかに匂ひけり

小石川 塚本 仲治

入選

見そなわす父祖の写真から櫻

西片 中島 多津子

十字架に秘めごとありて聖五月

千駄木 山田 鈴女

春うらら身を持ってあます広辞苑

春日 二村 吉光

亀鳴いて森のピエロもはしやぎだす

小日向 内野 仙也

「沈黙は金」と紅梅花開く

小石川 荻原 和夫

木の肌もこそばゆからむ芽吹きどき

千石 菊地 正矩

露味噌や母との旅は一度切り

小日向 林 たかし